たちつてとちぎ

JA全農とちぎ 通信

2025
8
Vol.293

特集

水稲直播技術『リゾケアXL』の
普及に向けた取り組み

農機事業一体運営拠点合同研修会
パワフルアグリフェアキックオフミーティング

みずほの自然の森公園へ感謝の意を
宇都宮市に刈払機を寄贈

「とちぎ和牛」7年ぶりの快挙
県産銘柄牛をさらに盛り上げます!

トピックス

耕種スマート農業研修会を開催
栃木県麦民間流通連絡協議会を開催
「栃木県冬春トマトグランプリ」表彰式を開催
幸水梨の目揃え会を開催

CONTENTS

・コラム②
国際協同組合年とは　～日本の協同組合～
・お知らせ
JA全農×株式会社伊藤園
「ニッポンエール 栃木県産にっこり梨SODA」
・簡単レシピ
『豚肉とピーマンのスタミナ炒め』
・子牛市場情報
・JAタウンからのお知らせ
・行事予定
・編集後記

©栃木県　とちまるくん

JAグループ栃木／JA全農とちぎはSDGsが目指す社会の実現に貢献しています

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

特集 水稲直播技術『リゾケアXL』の普及に向けた取り組み

営農販売企画部では、水稲における新たな直播技術『リゾケアXL』の県内普及を目的に、令和3年産から実証試験を行っており、今年で5年目を迎えます。

担い手の規模拡大に伴い、水稲直播による作期の分散や労力軽減等が注目される中、急速に需要が高まる『リゾケアXL』の普及に向けた各種取り組みを進めています。

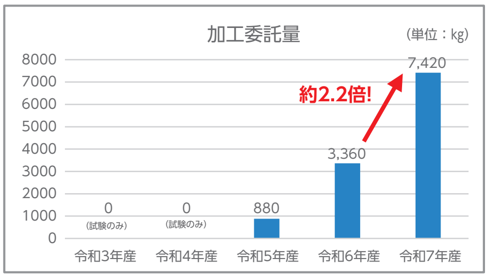
●リゾケアXLとは

リゾケアXLは、「酸素供給剤」「殺菌剤」「殺虫剤」を独自の技術でコーティング処理した種子です。育苗の手間を省くことができるため、大型生産者を中心に省力化に貢献できる技術です。鉄コーティングなどに比べて安定した出芽・苗立ちが期待できます。

●リゾケアXLの県内普及状況について

令和3年産の実証試験を皮切りに、県内10JAにおいて、試験の実証が行われています。

令和7年産の加工委託量は**7,420kg**(乾モミ重量、実証試験分を除く)となっており、昨年比で**約2.2倍**と県内で急速に普及が進んでいます。



●今年度初の取り組み ―「リゾケアアカデミー」の開催―

規模拡大や省力化を目的に直播導入生産者が増加しており、生産現場における直播指導者の育成が急務となっていることを受け、今年度から初めての取り組みとして「リゾケアアカデミー」を開催しています。

5～6月には、リゾケアXLのメーカーであるシンジェンタジャパン株式会社様にご協力いただき、JAの営農経済渉外担当者、営農指導担当者らを対象として座学でのレクチャーおよび現地研修を行いました。参加者は、リゾケアの使用方法や直播栽培時の注意点などを学びました。

今年度は全3回を予定しており、次回は8月27日の開催を予定しています。

営農販売企画部では引き続き、JAやメーカーと連携しながら、生産者の労力軽減と生産性の向上へ向けた各種支援を行ってまいります。

特集 農機事業一体運営拠点合同研修会 パワフルアグリフェアキックオフミーティング

生産資材部は6月27日（金）、「農機事業一体運営拠点合同研修会・パワフルアグリフェアキックオフミーティング」を開催しました。

はが野、しもつけ、なす南、おやま、しおのや、うつのみやの各広域農機センターの担当職員ら約120人が出席し、令和7年度の取り組み方針の共有や令和6年度の活動表彰、「パワフルアグリフェア」に向けた決起集会を行いました。

生産資材部からは令和6年度の取組総括と令和7年度の取組方針を説明。共同購入コンバインは、令和6年から令和8年の3年間で全国合計1350台の販売を目指す中、栃木では6月27日時点で全国トップの99台を受注しています。令和7年度の取組方針としては、カメムシ対策の一環で需要が高まるラジコン草刈機や刈払機、防除機の推進に力を入れることを確認しました。

さらに、各広域農機センターで販売・整備台数などの目標を達成した担当者の活動表彰や、米穀情勢の共有、コンプライアンスに関する研修も実施しました。

金田副本部長は「農業構造は大きな転換期を迎えており、農業機械の更新・新規導入を積極的に推進できるタイミング。皆さんの日々の業務は、地域農業の未来に投資する仕事。生産現場の課題を把握し、生産者の将来をどう支えていくかという視点をもって最適な提案を行ってほしい」と激励しました。

活動表彰の様子

挨拶する金田副本部長

特集 みずほの自然の森公園へ感謝の意を 宇都宮市に刈払機を寄贈

15 陸の豊かさも守ろう

17 パートナーシップで目標を達成しよう

生産資材部は7月23日（水）、宇都宮市に刈払機4台を寄贈しました。当日は宇都宮市役所で寄贈式を開き、金田副本部長から佐藤栄一市長へ目録を手渡しました。

この取り組みは、JAグループの地域貢献活動の一環として、また長年にわたり農業機械展示会の会場として利用してきた「みずほの自然の森公園」への感謝の意を表すものです。

佐藤栄一市長からは「宇都宮市では緑のまちづくりをすすめている。宇都宮市のシンボルとして後世に伝えていくために、有効に使わせていただく」と感謝の言葉をいただきました。

金田副本部長は、長年パワフルアグリフェアの会場として使用している感謝の言葉とともに、「公園の美しい環境づくりにぜひ役立ててほしい」と挨拶しました。

金田副本部長㊧と佐藤栄一市長㊨

特集 「とちぎ和牛」7年ぶりの快挙 県産銘柄牛をさらに盛り上げます！

全農肉牛枝肉共励会　JAかみつが町井さん"名誉賞"！

名誉賞に輝いた町井さん

7月4日（金）、東京都中央卸売市場食肉市場にて「第27回全農肉牛枝肉共励会」が開催されました。全国18都県から340頭の出品があった中、和牛去勢の部において町井一貴さん（JAかみつが）が、最高位の"名誉賞"に輝きました！栃木県勢の名誉賞受賞は7年ぶりの快挙となります。

地元の鹿沼生まれ、鹿沼育ちの牛で全国トップの名誉ある賞を取れたことが、本当に嬉しいです。息子にも牛舎の見回りを手伝ってもらい、家族で協力して育てました。いつも一頭一頭に目を配り、丁寧に管理するよう心がけています。

これからも「とちぎ和牛」の名にふさわしい、より良い牛をつくっていきます！

名誉賞受賞牛は、審査講評において「筋肉に厚みがあり、サシも細かく入っている。全体の形もバランスがよく、すばらしい枝肉」と評価され、同日のセリでは、キロ単価10,005円で取引されました。

また、交雑種の部では（株）手塚畜産が最優秀賞を受賞し、2年連続で同部門の最高位獲得となりました。

本県からは3部門に81頭を出品し、計5頭が入賞しました。

第1部和牛去勢の部名誉賞の枝肉

名誉賞牛を購買した乙川畜産（株）の塚田副社長と記念撮影

受賞者は以下のとおり。（敬称略）

部門	氏名	JA名	褒賞
第1部　和牛去勢	町井　一貴	JAかみつが	名　誉　賞
	仲山　一夫	JAしおのや	優　良　賞
第2部　和 牛 牝	（株）近藤ファーム	JAおやま	優　良　賞
第3部　交 雑 種	（株）手塚畜産	JAしおのや	最 優 秀 賞
	（株）小池畜産	JAしおのや	優　良　賞

とち和会および栃木県畜産研究会 合同研修会を初開催！

畜産部が事務局を務めるとちぎ和牛若手経営者組織「とち和会」は7月14日（月）、「とち和会および栃木県畜産研究会 合同研修会」を初開催しました。

安定した畜産経営並びに地域の畜産振興を目的に、畜産酪農研究センターの講師による講演、関係機関からの情報提供などのほか、県内の和牛肥育生産者、JA担当者、県職員で情報提供や意見交換を行いました。

意見交換では「これからの肉用牛経営について」を議題として、県職員とJA・生産者でグループ討議を行いました。

「輸出事業の拡大」「一貫経営の拡大」「雌のブランド化」「大手メディアでのPR」など様々な意見が上がりました。

耕種スマート農業研修会を開催

6月21日（土）、JAうつのみや、JAはが野と共催で「耕種スマート農業研修会2025」を開催しました。当日はスマート農業に関心をもつ県内の生産者を中心に、約120名が参加しました。

BASF ジャパン（株）から「ザルビオを活用した最先端農業」と題してセミナーがあり、栽培管理システム「ザルビオ」の具体的なシステム導入のメリット等の説明がありました。

また、基調講演では山形県でスマート農業を実践している（株）山正の綾野代表取締役より、スマート農業導入の経過や取り組み状況などの紹介がありました。

セミナーのほか、会場には農業用ドローンやラジコン草刈機などメーカー各社の最新の農機が並べられた展示ブースや、ザルビオ・Z-GISを実際に操作できる体験ブースも用意し、たくさんの生産者の方にスマート農業への理解を深めていただくことができました。

ザルビオについてのセミナーの様子

展示・体験ブース

栃木県麦民間流通連絡協議会を開催

米麦部は7月23日（水）、宇都宮市内で「令和７年度栃木県麦民間流通連絡協議会」を開催しました。各産地JAや実需者、行政関係者ら約60人が出席し、情報提供や意見交換などを行いました。

農林水産省や県からは国内産麦の需給動向や生育概況等についての情勢報告があり、その後の協議事項では、本会がそれぞれの麦種・銘柄の販売予定数量と購入希望数量の総括状況を報告しました。

大麦を中心に需給のミスマッチ（供給不足）が拡大していることを受け、需給バランスを考慮した作付推進や収量向上対策など、ミスマッチ解消に向けた対応策を示しました。

また、品質向上・安全安心に係る取り組み具体策や、入札上場比率、アローワンスの設定についても協議しました。

実需からは作付面積の回復や増産への期待・要望の声があり、産地からは安定生産のための国の支援策等への要望があがりました。

「栃木県冬春トマトグランプリ」表彰式を開催

園芸部ととちぎ農産物マーケティング協会は7月24日（木）、「第15回栃木県冬春トマトグランプリ」の表彰式を開きました。

予備審査を経て県内各JAに推薦された6か所のほ場を「果実品質」「収量性」「生育」「病害虫」「ほ場環境」で総合的に審査し、6月に実施した本審査にて大賞1点、金賞5点を選出しました。

厳選なる審査の結果、（株）Universal Yardの舛田愛さん（JAしもつけ）が見事大賞（農林水産大臣賞）に輝きました！舛田さんのほ場は、「草勢バランスも安定し、果実肥大にも優れ、ほ場管理も徹底された、まさに大賞にふさわしいほ場」と評価されました。

その後、舛田さんによる事例発表が行われ、管理のポイント、作業の効率化、雇用の確保などの取り組み事例が共有されました。

大賞に輝いた（株）Universal Yardの舛田さん

舛田さんの事例発表の様子

受賞者の皆さん

受賞者は以下のとおり。（敬称略）

主催者賞	特別賞	受賞者	管内JA
大　賞	農林水産大臣賞	（株）Universal Yard 代表取締役　舛田愛	JAしもつけ
金　賞	栃木県知事賞	星野　友彰	JA足利
	農産局長賞	小島　尚哉	JAしもつけ
	関東農政局長賞	中里　一広	JAはが野
	全農会長賞	渡邉　義正	JAかみつが
	栃木県農協中央会長賞	上野　俊介	JAうつのみや

トマトグランプリ表彰式後には、「栃木トマト産地改革研究会」を開催しました。トヨタ自動車アグリバイオ事業室の河原さんによる講演が行われ、改善事例を挙げながら、無駄を省き生産性を向上させる『トヨタ式カイゼン』の考え方などが紹介されました。

幸水梨の目揃え会を開催

園芸部は7月25日（金）、「令和7年産とちぎ幸水梨統一目揃会」を開催し、各JAの梨部会長、市場関係者、県の担当者ら、約30名が出席しました。

本会からは、他県や競合品目の状況をふまえた梨の販売情勢について情報提供を行いました。その後県からは、生育状況の報告と今後の栽培管理のポイントなどの助言があり、「病害虫の防除や高温乾燥対策には徹底を図ってほしい」と呼びかけました。

協議では出荷規格表や申し合わせ事項の確認、カラーチャートを用いた現物目揃えを行いました。 市場関係者からは、「採り遅れのないように努め、品質の良い梨を出荷してほしい」などの要望が寄せられました。

コラム②

国際協同組合年

2025

協同組合はよりよい世界を築きます

公式サイト

国際協同組合年とは
～日本の協同組合～

協同組合の歴史

協同組合は人々がたすけあい、みんなの幸せの実現に向けて、より良い暮らしや社会を目指す自主・自立の経済組織であり、運動体です。協同組合はその時々の組合員の課題達成に取り組んできた歴史を持ちます。

江戸時代末期には、二宮尊徳が経済的に苦しむ藩士のための「五常講」という信用組合のような制度を、大原幽学が「先祖株組合」という土地を出資の代わりにしてその収益で農民らがたすけあって生活していく仕組みをつくりました。大正に入り、協同組合運動の父と呼ばれた賀川豊彦は、貧しい人々の救済のため労働運動、農民運動、普通選挙運動など社会改革運動を推進しました。賀川豊彦が設立した神戸購買組合は現在まで続く協同組合の祖となっています。

協同組合が全国的につくられるようになった契機に1900年成立の産業組合法があります。その後、1947年の農協法をはじめとした個別協同組合法が順次制定されており、2022年10月には労働者協同組合法が施行されています。

協同組合の特徴

世界的にみると、協同組合基本法のように横断的な法律が存在している国が多いですが、日本では、さまざまな種類の協同組合が個別法にもとづいて事業を行っており、これは日本の協同組合の特徴ともいえます。

日本では、協同組合に延べ1億820万人の組合員が加入しており、協同組合が生み出す付加価値額は4兆9千億円にもなります(注1)。

また、日本における協同組合への加入率は個人ベースで46.5%、世帯ベースで51.4%と推計されます(注2)。

2025国際協同組合年を迎えた今、協同組合同士が連携を深め、社会課題の解決に一層取り組んでいくことが期待されています。

(注1)『2021年事業年度版協同組合統計表』(2024年3月:日本協同組合連携機構)。複数組合に加入の場合は組合員数を重複計上。
(注2)『協同組合に関する全国意識調査2022』(2023年3月:日本協同組合連携機構)

<table>
<tr><td>農業協同組合</td><td>農業生産指導・農産物販売、金融、共済、医療等</td><td rowspan="6">同じ協同組合の定義・価値・原則に則り運営</td></tr>
<tr><td>生活協同組合</td><td>商品供給や共済、医療・福祉事業等</td></tr>
<tr><td>漁業協同組合</td><td>漁場の利用調整、集荷・販売・加工、営漁指導等</td></tr>
<tr><td>森林組合</td><td>森林整備事業や林産事業等</td></tr>
<tr><td>労働者協同組合</td><td>人と地域に役立つ仕事づくり</td></tr>
<tr><td>信用組合、信用金庫、労働金庫</td><td>組合員のための金融機関</td></tr>
</table>

(2025国際協同組合年全国実行委員会　事務局:一般社団法人　日本協同組合連携機構)

お知らせ

JA全農×株式会社伊藤園
「ニッポンエール 栃木県産にっこり梨SODA」

JA全農と株式会社伊藤園の共同開発商品！ 全農とちぎが供給した栃木県のオリジナル品種「にっこり梨」の果汁を使用した炭酸飲料「ニッポンエール　栃木県産にっこり梨SODA」が全国のコンビニやスーパーなどで発売中です！

夏の暑さにぴったりの爽やかな炭酸飲料です。
店頭で見かけた際には是非お試しください！

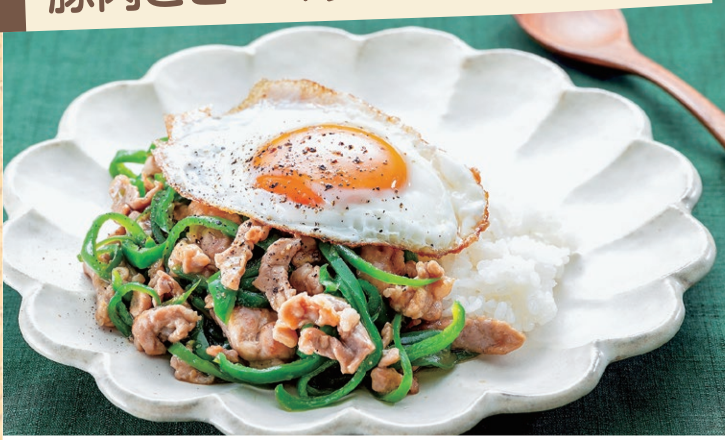
「にっこり梨」の甘さを味わえる、
思わずにっこりしてしまう
おいしさの炭酸飲料です！

≪商品概要≫

商　品　名	容量･容器	発　売　日	販売地域
ニッポンエール 栃木県産にっこり梨SODA	410ml･ ペットボトル	7月7日(月)	全国

簡単レシピ

豚肉とピーマンのスタミナ炒め



（アドバイス表2024年8月　いろどりコースP25）

〈材料〉(2人分)

- ･豚小間肉 …… 200g
- ･塩･こしょう …… 少々
- ･片栗粉 …… 小さじ2
- ･ピーマン …… 5個
- ･ごま油 …… 小さじ2
- ･ご飯 …… 茶碗2杯分
- ･目玉焼き …… 2個
- ･黒こしょう …… 適量
- Ⓐ ･酒･しょうゆ …… 各大さじ1と1/2
- Ⓐ ･砂糖･みりん …… 各大さじ1
- Ⓐ ･にんにく(すりおろす) …… 小さじ1

■作り方■

1. 豚肉は細切りにし、塩･こしょうを振って片栗粉をまぶす。
2. ピーマンは縦細切りにする。
3. フライパンにごま油を入れて熱し、①を入れて炒める。
4. 豚肉の色が変わってきたら②を加えてさらに炒める。
5. 合わせたⒶを加えて煮絡める。
6. 器にご飯をよそって⑤をかけ、目玉焼きをのせて黒こしょうを振る。

ポイント！

栃木推進課 管理栄養士
松原舞子さん

ピーマンに含まれるビタミンCはコラーゲンの合成にかかわるビタミンで、ストレスから体を守る働きをします。活性酸素を消去する抗酸化作用があり、動脈硬化の予防にも効果的です。また、皮膚のシミやしわを防ぎ、傷や炎症の治りをよくする効果があります。さらに、粘膜を強くして健康に保つ効果があることから風邪予防の効果も期待できます。

ふれあい食材についてはこちらから!

子牛市場情報　令和7年度7月矢板家畜市場成績書

	性　別	上場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重(日令)	単価(kg)	前回比
1日	雌	188	186	1,108,800	337,700	583,810	300(290)	1,940	−11,654
	雄	−	−	−	−	−	−	−	−
	去　勢	237	234	1,002,100	341,000	707,563	333(288)	2,118	−62,326
	合　計	425	420	1,108,800	337,700	652,758	318(289)	2,046	−39,658
2日	雌	179	177	995,500	138,600	584,603	303(290)	1,927	5,048
	雄	1	1	524,700	524,700	524,700	352(289)	1,490	−
	去　勢	197	194	1,063,700	431,200	711,490	339(289)	2,095	−33,518
	合　計	377	372	1,063,700	138,600	650,614	322(290)	2,018	−22,293
7月期合計	雌	367	363	1,108,800	138,600	584,196	301(290)	1,936	−2,987
	雄	1	1	524,700	524,700	524,700	352(289)	1,490	−
	去　勢	434	428	1,063,700	341,000	709,343	336(289)	2,107	−47,383
	合　計	802	792	1,108,800	138,600	651,751	320(289)	2,033	−30,417

概況

7月の矢板家畜市場は、802頭上場にて792頭が成立し、前年同月比49頭増となりました。平均価格は対前月比雌2,987円安、去勢47,383円安となりました。枝肉相場の情勢を受け、7月期矢板市場は価格を下げての取引となりました。

購買者数　1日目：152人　　2日目：142人

○次回開催/2025年8月6日〜7日　出場予定:各350頭(2025年9月の開催は、1日・2日です。)

とちぎ新鮮倉庫からのお知らせ

おすすめ商品のご紹介

「とちぎの梨(幸水)」

“しゃりしゃり”した食感に味わいジューシーな梨はいかがですか?「幸水」は甘みが強く、果汁たっぷりの果肉が特徴です。

果汁たっぷりなので夏場の水分補給にも最適です!是非ご賞味ください♪

他にも厳選した『とちぎの味』を取り揃えております♪

JAタウン

たちつてとちぎ 新鮮倉庫

とちぎ新鮮倉庫　検索　＼クリック／

8月の行事

- 6日(水)　矢板子牛市場　畜産部
- 7日(木)　矢板子牛市場　畜産部
- 8日(金)　とちぎ梨トップセールス　園芸部
- 12日(火)　県本部運営委員会
- 25日(月)　県本部運営委員会
- 31日(日)　野菜の日　とちぎの野菜を食べよう!

●CRT栃木放送「今朝も元気でいってらっしゃい」
5日(火)　7:33〜7:38(5分間)

●RADIO BERRY FM栃木「Do You 農?　たちつてとちぎ」
6日、13日、20日、27日(水)　17:15〜17:20(5分間)

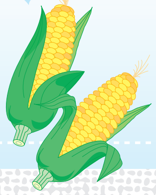
編集後記

今年の夏はトウモロコシにはまってしまい、人生で一番トウモロコシを食べた夏になりました。旬のトウモロコシは本当に甘くておいしいですよね。主食にも、おやつにも、おつまみにも最高です。

私はレンジでチンしてそのまま食べるか、かき揚げで食べるのが好きなのですが、おすすめの食べ方がありましたら、是非来年の夏までに教えていただきたいです。

まだまだ夏真っ盛りです。熱中症には気を付けながら、残りの夏を楽しみましょう!

(ミウ)



たちつてとちぎ
2025 8 Vol.293
JA全農とちぎ通信　令和7年8月1日発行

編集・発行／JA全農とちぎ 企画管理課
〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9番地25
☎028(616)8804
https://www.zenoh.or.jp/tc/

ちきゅうにやさしい みどりをまもる
VEGETABLE OIL INK この印刷物は環境にやさしい植物油インクと再生紙を使用しています。
私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。